



中高生フォトグラファー応援マガジン

TopEye

boys & girls photo magazine

No.299

2018
12-1

40th
Anniversary
2019年に創刊40周年!

第189回
TopEye
賞

「Party」 柚木 日菜子

[東京都立総合芸術高等学校 2年]



**TopEye全国高校生写真サミット2019
出場校 決定!!**

2/1~2/3 横浜で開催!

顧問の先生・部員の皆さんで
ぜひ、回覧してください!

ガンバレ写真部!

少数精鋭で、コツコツ幅広く活動中!

北海道恵庭南高等学校

視想講座 VOL.292

人と同じ場所で、人が撮らない写真を撮る

萩原俊哉

テーマ別に撮り方追求!

TopEye デジタル写真教室 第19回

親しい「友だちどうし」だからできる
撮影アイデア!

FRIENDS EYE

TopEye OB/OG訪問〈キャンパス編〉

杉原 賢紀 さん

(東京工芸大学芸術学部写真学科 2年/大阪府立成城高等学校OB)



[TopEye フォトコンテスト] 受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください!

ニコトッパイ

検索

TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3400レンズキット
- ・賞状



「Party」 柚木 日菜子

東京都立総合芸術高等学校 2年

- D300S
- AF-S DX18-200mm
- M (1/180秒・f/5.0、1/180秒・f/4.8、1/180秒・f/4.8、1/180秒・f/4.8)
- ISO1000 (4枚とも)

色とりどりのトッピングがされた手作りケーキを囲んでのパーティ。明るく都会的な色づかいにはみ出さんばかりの豪快なフレーミングで、青春のページをいきいきと表現しています。フラッシュをうまく使い、パーティの臨場感を演出しています。画面に映る女の子たちの声まで聞こえてきそうな元気でにぎやかな雰囲気に、見る私たちも楽しい気分になりました。(藤岡)

表紙に大きく載ってるよ!!

第189回 TopEye賞 受賞

柚木 日菜子さん

受賞のコトバをどうぞ!!



この度は、TopEye賞という素晴らしい賞に選んで頂きありがとうございます!まさか、賞を取れるなんて思ってもいなかったもので、とても驚きました。この写真は、友達のパーティにカメラマンとして同行した際に撮影しました。皆の「好き」をぎゅっと詰め合わせたこの空間を写真として残せることが何よりも嬉しいです。これからも、「好き」を取り続けていきたいと思っています!改めまして、本当にありがとうございました!

準TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタルコンパクトカメラ W300 OR (オレンジ)
- ・賞状

「食べこぼし」山田 朱璃

関市立関商工高等学校(岐阜県) 2年

- D5300
- AF-P DX55-300mm
- A オート (f/6)
- ISO1400

写真は、自分が見ている世界をどのように切り取るかで決まる。だとしたらこの一枚は、高校生とは思えない計算された熟練の一枚だと思いました。タイトルは「食べこぼし」。画面構成の大胆さに加え、どっしりとした象の質感に藁の動きを高速シャッターで写し撮られていてバランスもいい。プリントも美しい静謐なピクチャリズム。部屋に飾りたくなるような写真です。(藤岡)



審査員 藤岡 亜弥

審査員 小林 紀晴

広島生まれ、日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを教えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年「写真展「遠くから来た舟」」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCM、小説執筆などポータルに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。

プリントまで気を抜かずに良い作品を

藤岡 亜弥

今回も2,000作品近い応募があり、見ごたえがありました。たくさんの写真の中から選んでいく作業でいつも気になるのは、写真はおもしろい(かもしれない)けれどプリントが良くないで選べないものとか、プリントが小さいために他の写真に見劣りがして選べないものが少なくないことです。写真はやはり見た目が大事。ていねいに見ていてもプリントが良くないと目が弾いてしまいます。最後のプリントまで気を抜かず、良い仕上げをしてください。タイトルも気を抜かないで!楽しくもあり大変でもある審査ですが、2月にはみなさんと横浜で会えるんだと思うと、とても楽しみです。



「君がくれた光」森江 一步

静岡県立伊東高等学校 3年

- デジタル一眼カメラ
- 55mm
- M (1/4000秒・f/1.8)
- ISO640

暮れなずむ時間帯、一人の女の子がガラス瓶に入った火花を差し出すように持っています。ガラス瓶の中には火花以外入っていません。燃えつきてしまえば、燃えかすだけが残ることになります。だからこそ、はかなさと美しさを強く感じさせてくれます。思いが残ります。(小林)



入選

賞品

- ・ニコンオリジナルグッズ FLX トートバッグ
- ・賞状

「豪火」松本 桃果

広島県立庄原原格致高等学校 2年

- デジタル一眼カメラ ●18-55mm
- Pオート ●ISO800

光の軌跡がグルグルと残っています。いろんなものに見えてきます。竜巻とか、回転する炎のようにも見えてくるから不思議です。吸い込まれ、落ちていくさまのようでもあります。何より正面奥に人物がいるのが効いています。炎をやつる魔法使いのようです。(小林)



「つむじの術」 佐藤 大輝

宮城県白石工業高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-135mm
- M (1/15 秒・f/6.3)
- ISO800

不思議な写真です。まさに「術」のように見えます。このまま空中に浮いていくかのようです。おそらくステージ上の動きを目にしたとき、とっさに「つむじ」のイメージが頭に浮かんだのでしょう。それをビジュアル化するための選択と決断の勝利です。(小林)

「木漏れ日の下で」 高井 帆香

中越高等学校(新潟県) 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 24-70mm ●Aオート (f/2.8)
- 露出補正 -0.3EV ●ISO100

物語を感じさせる一枚です。何も起きていないのに、二人にとって濃密で特別な時間を感じられます。どんな会話が交わされているのかわかりませんが、男の子が手にした本について話しているのかわかりません。視線が変わっていないからこそ、心の揺れも感じさせます。(小林)



「毒」楠本 遥香

和歌山県立神島高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm
- A オート (f/4) (4枚とも)
- 露出補正 -3EV (4枚とも)
- ISO1600 (4枚とも)

夜の公園で葉っぱを口にする、あるいは枝を足を踏む。スピードライトの光が暴力的です。それでいて切なさもあります。毒とわかっていても、何も生まないとわかっていながらも、衝動を押さえられない。そんなふうにも感じられました。若さは鋭利な刃物です。(小林)



受賞ポイント

- TopEye賞 100ポイント
- 準TopEye賞 70ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) 50ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) 30ポイント
- 準佳作 (20作品) 20ポイント
- ※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!



「真夏の妖美」
橋本 真衣
山口県立下松高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●60mm
●Sオート (1/200秒)
●露出補正 -5EV
●ISO100



「妖花」 儀間 梨々香
沖縄県立浦添工業高等学校 2年
●D3400
●AF-P DX18-55mm
●M(1/80秒・f/4.8)
●ISO400



「屏息」 藤井 美紗希
山口県立防府高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-135mm
●Aオート (f/5.6)
●ISO400



「アイデンティティー∞」
三田 梓颯
群馬県立富岡実業高等学校 1年
●D5500
●17-50mm
●Sオート (1/60秒)
●ISO100



「超越」 岡山 優凜
奈良県立王寺工業高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●17-50mm
●Aオート (f/9)
●露出補正 -1.3EV
●ISO800



「スタジオの二人」
藤本 浩太
栃木県立足利工業高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm
●Aオート (f/5.6)
●ISO500

佳作

賞品
●ND オリジナル
リバーシブルポーチプロ
●賞状



「二重の刻」 米川 真紀
神奈川県立瀬谷高等学校 3年
●D5300
●AF-S DX18-140mm ●Aオート (f/5.6) ●ISOオート



「幼き戸惑い」 山添 真菜
熊本県立第二高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●55mm ●オート ●ISO125



「ちょっと一服」 高濱 礼実
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 2年
●D7500
●AF-S DX18-140mm ●Aオート (f/5.6) ●ISO400



「陰悪な状態」 田中 沙奈
香川県立坂出商業高等学校 1年
●D5200
●AF-S DX18-55mm ●Pオート ●ISO800



「気づかれる視線」和田 夏依
中越高等学校 (新潟県) 2年



「日曜の朝」比嘉 夏子 沖縄県立浦添工業高等学校 3年



「moment」成瀬 夢
帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) 高校 3年



「見つけた」藤野 伊玖麻
仙台市立仙台高等学校 (宮城県) 2年



「たゆたふ」生駒 侑夏
大阪府立生野高等学校 2年



「白面少女」桑鶴 帆乃香
愛知県立桃陵高等学校 1年



「過ぎゆく季節の中で～
山の辺の道神の木休憩所にて～」
平井 康生
奈良県立王寺工業高等学校 2年

準佳作

賞状



「炎の料理人」伊藤 ちひろ
神奈川県立
瀬谷高等学校 2年



「集う秋」阿部 拳士朗
宮城県白石工業高等学校 2年



「魅了」前田 瑞希
宮城県白石工業高等学校 2年



「迷夢」高山 優衣 神奈川県立瀬谷高等学校 2年



「静寂」稲村 春輝
広島県立庄原格致高等学校 2年



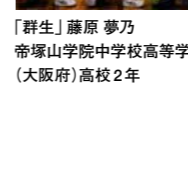
「群生」藤原 夢乃
帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) 高校 2年



「共鳴」宮崎 美奈 和歌山県立神島高等学校 2年



「紅炎の踏襲」佐藤 涼太
山形県立山形南高等学校 2年



「人影」田川 桃香 和歌山県立神島高等学校 1年



「引越し」室山 理奈 大阪府立生野高等学校 2年



「ビビッ」真岡 綺音
大阪府立成城高等学校 3年



「狙う」太田 愛有未
福井県立丹生高等学校 2年



「気になって…」加藤 春樹 加藤学園暁秀中学校・高等学校 (静岡県) 中学 1年



TopEye 2018年度 成績中間発表

フォトコンテスト

1位	和歌山県立神島高等学校	320ポイント
2位	東京都立総合芸術高等学校	180ポイント
3位	沖縄県立浦添工業高等学校	170ポイント
4位	中越高等学校 (新潟県) / 神奈川県立瀬谷高等学校	160ポイント
6位	宮城県白石工業高等学校	140ポイント

7位	関市立関工高等学校 (岐阜県)	130ポイント
8位	広島県立庄原格致高等学校 / 香川県立坂出商業高等学校	120ポイント
12位	(110ポイント) 大阪府立生野高等学校 / 八代白百合学園高等学校 (熊本県) ▶ 14位 (100ポイント) 愛知県立一宮南高等学校 / 山口県立下松高等学校 ▶ 16位 (80ポイント) 帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) / 奈良県立王寺工業高等学校 / 山口県立防府高等学校 ▶ 19位 (70ポイント) 群馬県立藤岡北高等学校 / 香川県立観音寺第一高等学校 ▶ 21位 (60ポイント) 栃木県立足利工業高等学校 ▶ 22位 (50ポイント) 群馬県立富岡実業高等学校 / 埼玉県立芸術総合高等学校 / 日本大学第三中学校・高等学校 (東京都) / 大阪府立四條畷高等学校 ▶ 26位 (40ポイント) 千葉県立四街道高等学校 / 愛知県立津島東高等学校 ▶ 28位 (30ポイント) 仙台市立仙台工業高等学校 (宮城県) / 宮城県利府高等学校 / 明和県立高等学校 (群馬県) / 埼玉栄中学・高等学校 (埼玉県) / 女子美術大学付属高等学校・中学校 (東京都) / 川崎市立川崎総合科学高等学校 (神奈川県) / 熊本県立第二高等学校 ▶ 35位 (20ポイント) 仙台市立仙台高等学校 (宮城県) / 山形県立山形南高等学校 / 新潟県立上越総合技術高等学校 / 新潟県立十日町総合高等学校 / 福井県立丹生高等学校 / 共立女子高等学校 (東京都) / 東亜学園高等学校 (東京都) / 千葉県立柏南高等学校 / 加藤学園暁秀中学校・高等学校 (静岡県) / 愛知県立桃陵高等学校 / 広島県立広島商業高等学校 / 聖和女子学院高等学校 (長崎県)	

TopEye全国高校生写真サミット2019 出場校決定!! 裏表紙を見てね!

次回締切は ▶ 1月10日 当日消印有効 作品応募要項を良く読んでご応募ください。

ガンバシ 写真部!!

ガンバシ写真部、初の北海道進出!! 少数精鋭で「TopEyeフォトコンテスト」に毎回ご応募くださっている北海道恵庭南高等学校を、夏の終わりにご訪問。撮影体験で意外な「出逢い(?)」もあって、なかなか盛り上がった取材でした!

北海道恵庭南高等学校



左から:西岡さん、藪さん、熊谷くん、顧問の松本先生 円内:吉田さん、民さん

少数精鋭で、コツコツ幅広く活動中!

学校行事・遠征・メディア、あちこち顔出します!

広大で自然が豊かで、様々な風景に出逢える北海道。合宿や撮影会、それから講習会やイベントなど、様々な機会をとらえて腕を磨いているそうです。もちろん、学校行事や他の部活の撮影も買って出て、時には地域メディアの顔にもなったり。今後の課題はと聞けば、「部員を増やし、にぎやかにしたい」と顧問の先生。確かに、楽しい活動は大勢で分かち合いたい! これからも、パワフルな活動と作品、期待してます!



批評会の様子。部員さんの作品を大型モニターで見ながら、みんなで感想や良いポイントをディスカッション!



「TopEyeデジタル写真教室」もテキストにご活用。ありがとうございます!

部員: 5名(三年3名、一年2名)
歴史: 2008年ごろ、同好会として誕生。2013年に部に昇格!
活動: 月・木が活動日。あとは随時自由撮影。各学校行事には撮影班として参加。道の高文連大会に毎回参加。夏合宿は、あの「東川町国際写真フェスティバル」に出品、見学も!
機材: カメラはニコンD3000シリーズ5台、他。プリンター2台、三脚2脚。
部費: 生徒会予算が年14万2千円(部員からの徴収はなし)、機材関連とインク、用紙代で使い切ります。学校祭の部活写真展示の際は、生徒会からインク、用紙代を別予算で。



行事撮影などでつける腕章も作成。シンプルデザインでインパクト!



5月のバスケット部の大会でもカメラマンを担当。

困った時に、やさしくアドバイス!
 顧問の松本先生
 カメラ歴10年
 ご愛用カメラ: D810、D7100

たくさん観て、たくさん撮るのが上達の秘訣!



11月、吹奏楽部の定期演奏会を撮影&作品を展示!

写真誌「フォトコン」の企画にも参加! プリンターをゲットしたそうです。

地元の新聞に定期的に作品を掲載!

部長の熊谷くん

優しい、物知り、面白い。見た目通りの親分肌!



構図を考えて撮るまでの間に、結構アイデア考えます。ずっと観ていたくなるような写真を撮りたい!

熊谷くん撮影



吉田さん撮影



友だちの笑顔や「青春してる」ところを切り取るのが楽しくて! 撮影後の写真の加工にも結構がんばります。

副部長の吉田さん

明るく真剣、そして集中力! 頼りになります!



第186回 TopEyeフォトコンテスト準佳作

学校前で、突如キノコ撮影会!?

学校の真ん前に、緑が美しい「恵庭公園」。取材日は快晴ということで、ニコンのD5500を持って、さっそく撮影体験へ。部員同士で人物写真の試し撮りなどやっていたら、ふと足元に大～きなキノコ発見! 「この公園はよく来るけど、知らなかった!」と、たちまちキノコ撮影会に早変わり。よく見れば形はいろいろあるし、真上から、地面ギリギリからなど、アングル次第でイメージ激変。いやー、おもしろい被写体って、本当にその辺に転がってるもんですね。改めて実感!



藪さん撮影



熊谷くん撮影



西岡さん撮影

ゆったり活動、でも心は燃えてる!

この数年、「TopEyeフォトコンテスト」皆勤! という実績が示すように、毎日コツコツじっくり写真を楽しむのが、恵庭南写真部の持ち味。撮影はそれぞれ土日に行い、週2日の活動日のうち、月曜日は撮ってきた写真の批評会、木曜日は技術的なことの勉強会と、しっかりカリキュラムが組まれています。部の雰囲気はグイグイ感はありませんが、それぞれ自分なりに「うまくなる方法」を考えている様子。静かにやる気満々なのが頼もしい!!

「東川町国際写真フェスティバル」ストリートギャラリー2018で入賞!



グランプリ 藪さん

準グランプリ 熊谷くん

Topic 北海道・東京で作品展開催!!

- 11/28~12/12 東川町文化ギャラリー 恵庭南写真部の作品 30点
- 2019年 1/5~10 ニコンプラザ新宿 フォトスクエア 藪さんの「ストリートギャラリー」グランプリ作品 10点



西岡さん撮影

西岡さん撮影

西岡さん撮影

ビー玉など、ガラス素材を使った撮影が好き。いつもと違った世界が見えてきます。



西岡さん撮影



藪さん撮影



幼なじみに、蛮なことやってもらってバチり。写真って、自由行動なところが楽しいです。

曇りや雨を、よく撮るかな。みんなに見てもらうために、作品をパネル貼りするのも好きです。



民さん撮影



秋に3日間の全道大会を開催

北海道高文連では10月中旬、道内11支部の当番校持ち回りにより3日間の全道大会を行います。毎年400点近い作品が展示され、上位入選作品はスライド上映し、審査委員長が丁寧に解説します。撮影会も実施しており、同じ土俵で撮った他校の作品を鑑賞し講評を聞くことは生徒の視野を広げる一助となっています。更に当番支部に在住する写真家による講演では、御自身の作品を上映しながら撮影のねらい、苦労話等をお話してもらっています。



「ガンバシ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

テーマ別に撮り方追求！

第19回 TopEye デジタル写真教室

身近にある、いろんな被写体をテーマに撮影の技法やアイデアを紹介するよ。
季節に応じたテーマを取り上げていくから、ぜひ試してみてね！



今月のテーマは…

親しい「友だちどうし」だからできる撮影アイデア！

写真部の部活では、友だちがいちばん身近なモデルだよな。
オーソドックスなポートレートもいいけれど、ちょっと工夫して面白い作品に挑戦！



今回の作例



今回は、3名の高校生の皆さんにモデルをお願いいたしました。

【撮影データ】
●使用カメラ:Nikon D5600 ●使用レンズ:18-55mm(焦点距離:18mm) ●ISO:オート(ISO100) ●露出モード:シャッター優先オート(1/30秒、f/9)
●ホワイトバランス:晴天 ●ピクチャーコントロール:ポートレート ●フォーカスモード:AF-C



左の写真のように、手をつないでグルグル回りながら、連写モードで撮影したよ。背景が横にブレて躍動感が出るし、面白い撮影法なので笑顔になりやすいという効果も(笑)。



表現のポイント!!

- Point 1 「Sオート」でシャッター速度を「1/30秒」程度に！
- Point 2 被写体が動くので、「AF-C」モードを活用しよう！
- Point 3 「ポートレート」モードなら、人物がきれいに撮れる！



今回のおすすめレンズ

広角系のレンズが撮りやすいよ！
今回は、被写体と距離が近く、背景もある程度入れたかったので、広角寄りのレンズをオススメしたい。



シャッタースピードで比べてみると…



背景がほとんど止まってしまうので、面白くない。



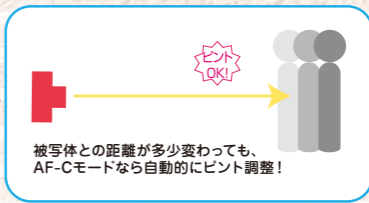
被写体がしっかり止まり、背景が程よくブレるのがこのくらいのシャッタースピードだ。

How to 1 露出モードを「S」にしてシャッタースピードを設定！

今回は背景をわざとブレさせたいので、「Sオート(シャッター速度優先オート)」で撮ろう。背景がいい感じに流れて、しかも人物があまりブレない程度にするには、1/30秒程度がおすすめ。

How to 2 動く被写体は「AF-C」モードで狙え！

手をつないでいるとは言え、お互い動いているのでオートフォーカスでもピントは合わせにくい。だから、被写体との距離が変わっても自動的に対応してくれる「AF-C」モードを使っただよ。



AF-Cモードの解説
第13回(2017年10月号)、第14回(2017年12月号)を見てね！

How to 3 「ポートレート」モードでキレイに撮ってあげよう。

多くのカメラには、被写体に合わせて色合いやコントラストなどを調整する「画作り設定」*機能がある。特に女性を撮る場合には、ふんわり柔らかな描写ができる「ポートレート」モードがおすすめだ。

*ニコンのカメラでは「ピクチャーコントロール」と言います。

ピクチャーコントロールを変えてみよう！



SD(スタンダード)
コントラストがやや高めで陰影が強くなる。女性のポートレートにはあまり向いていない。



PT(ポートレート)
柔らかな描写で肌の色もキレイ。髪の毛のディテールもよく分かる。ステキな仕上がりがだね。

作品づくりのポイント

「ISO感度自動制御」で、安定した露出を。

今回は「屋外」で「回りながら」撮影するため、モデルも順光⇒逆光がクルクル変わり、露出が安定しない状況だった。そこで「ISO感度自動制御」機能を使い、光の具合でISO感度を自動的に変えるように設定したよ。



基準のISO感度を設定。今回はISO100にしたよ。
「感度自動制御」をONに。
「制御上限感度」を設定。今回は明るい屋外だったので、400にしたよ。

写真のセレクトもかんじん！

遅いシャッター速度で動きながら撮るので、被写体ブレを起こしやすい。連写モードでたくさん撮り、モデルはしっかり止まって、背景がうまくブレている写真を選んでね。



協力/共立女子高等学校(東京都)写真部の皆さんありがとうございました！

CAUTION 今回の撮影の注意 CAUTION

- ◎人や物にぶつからないように！
動きながら撮るので安全が第一。人通りや物がなく足元が平らな、ゆったりと広めの場所で撮影しよう。
- ◎カメラの落下防止のために
片手でカメラを持つので、ストラップを手首に巻きつけるか首にかけて、落とさないように注意してね！
- ◎グルグルは2周まで！
何周もすると目が回って、転倒する危険もある。撮影1回あたり2周までとし、休憩しながら撮ろう。

次回はまとめて、コンテスト出品の注意を中心にレクチャーするよ。





長野県高山村 黒部のえどひがみ (4月中~下旬)



長野県軽井沢町 竜返し滝 (8月)



秋田県北秋田市 桃洞横滝 (10月中旬)



栃木県日光市 華厳の滝 (1月下旬~2月上旬)

大学時代、友人と車で旅行するのが好きでした。旅先の写真を撮ろうとカメラを買い、様々なレンズを父から借りて撮影を楽しみました。ただその頃は、「プロに」とは考えませんでした。

写真への思いが強くなったのは、就職してからですね。勤務先の広告会社で風景写真の雑誌を刊行しており、営業の仕事の一方でロケの補助にも携わりました。各地を訪ねる度に様々な風景に感動し、「残したい」と思うようになりました。

10年ほどで会社を辞め、写真を仕事にしようと独学を始めました。好きな写真家の作品をひたすら観て、真似て撮るので、貯金で生活しつつ、自分への投資と思って続けるうち、古巣の会社のつながりから、仕事が広がっていきました。

表現したいのは風景の「ダイナミズム」ですね。動きや力強さ、厳しさ、癒しなど、被写体が持つキャラクターを魅力的に伝えたいと思っています。掲載の「華厳の滝」は、滝の流れ落ちる形を捉えるため高速シャッターで撮影。また「桃洞横滝」は、滝

壺に落ちた紅葉の動きをスローシャッターで描写しました。動かないように見える風景でも、光や被写体の状態は刻々変わり、同じ写真は二度と撮れません。

人が踏み入れられないような場所には行きませんが、それだけに「人と同じ写真を撮らない努力」が重要。自分ならではの感性や視点が助けになります。皆さんも、人と違う写真を撮るためには、「自分は何が好きか」という感覚を大切にしましょう。

一方、部活など仲間同士で活動するメリットも大きいはず。作品を通して仲間と自分との思考や感覚の違い、つまり自分の個性が分かるし、人のアイデアや技術を取り入れることもできます。先生方には、「こう撮りなさい」とするより、生徒さんが撮りたいものを思い通りに撮る技術を教えてあげて欲しいと思います。

これまで東日本を中心に撮ってきたので、今後は西の方も狙いたいですね。全国制覇したいところですが、多分まわり切れないでしょう。でも、新しい風景を見たいという意欲は持ち続けています。

萩原俊哉

Profile

(はぎはら・としや)
1964年山梨県甲府市生まれ。広告代理店に入社、食品関連の広告制作に配属、カタログ制作、イベント企画等に携わる。退社後、フリーのカメラマンに転向。現在自然風景を中心に撮影、写真雑誌等に執筆活動中。著書に「ニコンD800 & D800E プロはこう使う。」(ニコンカレッジ監修・インプレスジャパン)など多数。日本風景写真家協会(JSPA)会員。
WEBサイト:
hagihara-photo.art.coocan.jp



A [デジタルカメラと写真の教科書 四季の風景編]インプレス刊 2,000円+税
B [風景写真の便利帳](共著)玄光社刊 1,700円+税
C [自然風景撮影 上達の鉄則60](共著)玄光社刊 1,600円+税

萩原俊哉さんの撮影ノウハウが詰まった書籍、好評販売中

FRIENDS EYE

読者の皆さんと編集部と一緒に作る、情報コーナー。皆さんの情報提供も待ってるよ!

元気な先輩に出会いたい!

TopEye OB/OG訪問!

—— キャンパス編 ——

写真を学ぶ先輩に学生生活をインタビュー!



SENPAI- 杉原 賢紀さん
file.19 東京工芸大学芸術学部写真学科 2年

大阪府立成城高等学校OB
「水たまり天野川」で第182回フォトサロン(現・TopEyeフォトコンテスト)準佳作

Instagramにも写真をアップ!
@jp_insisit



写真にハマったのはどうして?

写真部に見学に行った時、スマホで撮った写真を顧問の先生に見せたら、「面白い写真がある。もっと観たい」と。評価されるのが嬉しく、1週間に1,000枚以上撮る部の課題にも夢中で取り組みました。進路はもともと美容方面を考えていましたが、写真で指定校推薦を受けられると知り、思い切って上京しました。

好きな授業は?

一つはフィルム現像の実習。今年は小林紀晴先生に教わっています。階調の出し方や露出・現像時間による変化など、とても興味深いですね。先生のプリントを間近に見られるのも貴重な経験です。IllustratorやPhotoshopを扱う授業は苦勞でしたが、習得したらできることが大きく広がり、自信にもつながりました。

普段の生活の様子は?

新聞奨学生で、販売店の寮に住んでいます。夜中の0時半に起き、朝5時ごろまで配達の仕事をし、仮眠した後授業へ向かいます。最初は大変でしたが、今は慣れて時間もうまく使えるようになりました。大学では週1日の写真部の活動の他、高校から続けているダンスの部活もやっています。週末は都心の方へスナップ写真を撮りに。不定期ですが、写真館のアルバイトで近隣都県の学校行事など撮影したりもしています。

では、TopEye読者にメッセージを。

写真を撮っていると新たな発見があり、自分の視点も分かってきます。昔の自分の写真には今とまた違う面白さがあります。撮り続ける事の大切さは、後になるほど実感できますよ。皆さんも、写真頑張りましょう!!

授業以外の写真活動は?

高校時代によく撮影に行った京都などの伝統文化の面白さに、上京してから改めて気づきました。帰省しても自宅でのんびりせず、八坂、河原町、祇園など、好きな街へ撮影に行きます。就職については悩んでいる最中ですが、写真はずっと続けて、日本文化の魅力を世界に発信したいと思っています。



杉原さんの最近の作品から。

TopEye賞受賞者 全員入賞!

おめでとう 第66回 ニッコールフォトコンテスト 18歳以下限定 「TopEye & Kids」部門

TopEyeフォトコンテストの常連応募者が「直接応募」でニッコール大賞(最優秀賞)を獲得!! 2017年度「TopEye賞」受賞のノミネート作品もみんな入賞しました。おめでとう!

審査員・佐藤 倫子 先生から(ニッコールクラブ顧問)
写真ほど、だれもが伸び伸びと自由に表現できる場はほかにありません。自分の表現したいことをどれだけ写真で見せられるかが鍵です。自分を信じ、個性ある作品をたくさん撮ってください。(授賞式講評より抜粋)

授賞式で、TopEye仲間に出会ってきました!

入賞作品写真展を開催! 観に来てね!!

11/27(火)~12/3(月) ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1・2
1/18(金)~1/23(水) ニコンプラザ大阪 THE GALLERY
開館時間: 両会場とも10:30~18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)

直接応募で受賞!! 「まつ毛長くなりた系女子」高松 志帆 さん [山口県立下松高等学校]

ニッコール大賞受賞

TopEye賞ノミネート作品

「環境」川井 美樹 さん [和歌山県立神島高等学校 OG / 第183回 TopEye賞]

「涼を感じて」渡邊 春香 さん [出雲北陸中・高等学校(島根県)OG / 第184回 TopEye賞]

「世界名画紀行」黒澤 碧 さん [群馬県立藤岡高等学校 OG / 第186回 TopEye賞]

「多重入色」川口 春瑠 さん [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)OG / 第185回 TopEye賞]

「TopEyeフォトコンテスト」応募経験者も「直接応募」で多数受賞!

推薦 上野 睦生 さん [福井県立丹生高等学校]

特選 新本 真子 さん [山口県立下松高等学校]

宮崎 美奈 さん [和歌山県立神島高等学校]

京崎 和 さん [福井県立丹生高等学校]

成瀬 夢 さん [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)]

本木 明 さん [大阪府立成城高等学校]

入賞 藤田 菜緒 さん [同志社女子中学校・高等学校(京都府)]

山中 ゆりあ さん [愛知県立小牧南高等学校]

福田 莉沙 さん [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)]

山本 優花 さん [大阪府立成城高等学校]

菅原 進之介 さん [香川県立坂出商業高等学校]

津波 古 真琴 さん [神尾県立浦添工業高等学校]

松江 丞の進 さん [神尾県立神津中学校(東京都)]

藤原 夢乃 さん [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)]

TopEye 全国高校生 写真サミット2019

全国から選抜された高校写真部が集結

2019年2/1(金)～2/3(日)

講師・審査員

小林 紀晴 氏
藤岡 亜弥 氏
秋元 貴美子 氏
熊切 大輔 氏
ミソタ ユキ 氏



15校 出場決定!

- 宮城県白石工業高等学校
- 中越高等学校 (新潟県)
- 東京都立総合芸術高等学校
- 神奈川県立瀬谷高等学校
- 静岡県立伊東高等学校
- 関市立関商工高等学校 (岐阜県)
- 愛知県立一宮南高等学校
- 大阪府立成城高等学校
- 大阪府立生野高等学校
- 和歌山県立神島高等学校
- 広島県立庄原格致高等学校
- 山口県立下松高等学校
- 香川県立坂出商業高等学校
- 八代白百合学園高等学校 (熊本県)
- 沖縄県立浦添工業高等学校

入場 無料 予約 不要

みんなで応援して、
感動の瞬間を見届けよう!

会場：横浜美術館レクチャーホール

どなたでもご来場いただけます。

※お席に限りがございます。

プログラム

2/2(土)

15:30～19:00 ・プロ写真家によるフォトレビュー
・生徒による作品プレゼンテーション (作品発表)

2/3(日)

10:00～12:45 ・特別講演/藤岡亜弥
・表彰式・グランドフィナーレ

主催：株式会社ニコンイメージングジャパン
共催：横浜美術館
後援：横浜市文化観光局、高等学校文化連盟全国写真専門部
協力：エプソン販売株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、
フォトシティさがみはら実行委員会、北海道「写真の町」東川町、
全日本写真連盟、日本報道写真連盟、読売新聞東京本社

「TopEye」配布校の先生方へ

「写真サミット2019」を
視察に来ませんか?

参加校以外の高校写真部の顧問の先生10名様に、「写真サミット」各プログラムを視察していただけます。詳しくは、メールで以下にお問い合わせください。 topeye@nikon.com

※公開プログラム他、交流会やフォトレビューなどにもご参加いただけます。
※会場までの交通費や宿泊費はご自身のご負担となります。

公式SNSも
よろしく!

- ◎開催まで、講師や参加校の横顔を続々紹介!
- ◎当日の様子を写真&動画でどんどん発信!
- ◎グランプリなど、受賞校もいち早く発表!



Facebook
www.facebook.com/nikon.topeye.summit



Twitter
[@topeye_summit](https://twitter.com/topeye_summit)



Instagram
[@nikon_topeye_summit](https://www.instagram.com/nikon_topeye_summit)

写真展のお知らせ

第7回 日韓中 高校生 フォトコンテスト 写真展

夏に行われた、3カ国をまたぐコンテストの
優秀作品を展示!

2019年1月29日(火)～2月4日(月)
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 2

2019年2月21日(木)～27日(水)
ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

主催：高等学校文化連盟全国写真専門部

「出て来い新人?」

日本大学藝術学部写真学科 気鋭学生写真展

日本大学芸術学部写真学科で優秀な成績を修めて
いる在学生9名による作品展。先輩の刺激をもらい
に行こう!

2019年1月29日(火)～2月4日(月)
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1



昨年度開催の様子

神奈川県高等学校総合文化祭 第45回高校生写真展

神奈川県高文連所属の高校写真部仲間が腕を振るっ
た、今年度の力作が集結!

2018年12月19日(水)～24日(月)
横浜市民ギャラリー(横浜市西区宮崎町26-1)



昨年度開催の様子

主催：神奈川県高等学校文化連盟、神奈川県教育委員会

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

TEL: 03-6718-3020

次号の
『TopEye』(No.300)は
2月21日発行予定です。